

令和 2 年度 我孫子市平和事業

広島派遣報告書



千葉県我孫子市

目次

■我孫子市の平和都市宣言と平和事業	3
平和都市宣言	4
平和の記念碑	5
■被爆地への中学生派遣事業	6
派遣の目的	6
派遣内容	6
派遣人数	6
団員の活動	6
令和 2（2020）年度の派遣事業	7
広島派遣 3 日間の行程	8
■広島派遣の報告	15
派遣に向けて	17
第 1 日目	22
第 2 日目	29
第 3 日目	39
■派遣後の活動	43
被爆 75 周年我孫子市平和祈念式典	44
手賀沼とろう流し	49
広島・長崎派遣中学生リレー講座～未来を生きる子どもたちへ～	53
平和の集い～我孫子から平和を願う～	59
■私たちの平和宣言	63
我孫子中学校 2 年 山元 誠人、高瀬 由華	64
湖北中学校 2 年 染谷 美翔	65
布佐中学校 2 年 藤川 幹太、寶 春香	66
湖北台中学校 2 年 中村 恭平、大津 佳奈	67
白山中学校 2 年 寺島 一樹、信田 明音	68

■平和祈念文集	69
我孫子中学校 2年 山元 誠人	70
我孫子中学校 2年 高瀬 由華	72
湖北中学校 2年 染谷 美翔.....	74
布佐中学校 2年 藤川 幹太.....	76
布佐中学校 2年 寶 春香	78
湖北台中学校 2年 中村 恭平	80
湖北台中学校 2年 大津 佳奈	82
白山中学校 2年 寺島 一樹.....	84
白山中学校 2年 信田 明音.....	86
■参考資料	88

・派遣団新聞

(広島で学んだことをわかりやすく伝えるため、派遣中学生が自分たちで新聞を発行しました)

・手賀沼公園 平和祈念碑マップ

・令和2年広島平和記念式典における平和宣言、平和への誓い

・令和2年長崎平和祈念式典における平和宣言、平和への誓い

(表紙写真撮影 宮角 孝雄)

■我孫子市の平和都市宣言と平和事業

我孫子市は、昭和 60（1985）年 12 月 3 日に「平和都市」を宣言し、翌年、広島市から被爆した旧市庁舎の側壁と敷石を譲り受け、手賀沼公園内に「平和の記念碑」を建立しました。その後、毎年 8 月に、平和の記念碑前で、我孫子市原爆被爆者の会とともに平和祈念式典を開催してきたほか、戦後 50 年、60 年、65 年、70 年の節目の年には記念事業を実施しています。

その間、戦争や原爆の体験者の高齢化は進み、その恐ろしさや悲惨さを直接伝えることのできる方は年々少なくなってきました。そのため、市では、戦後 60 年にあたる平成 17（2005）年から、被爆地への中学生派遣事業をスタートし、被爆の実相や平和の尊さを次の世代に伝えていく取組みを始めました。

また、平成 20（2008）年に「我孫子市平和事業推進条例」を制定し、我孫子市平和事業推進市民会議を設置して、市民とともに平和事業に取り組んでいます。さらに、平成 24（2012）年には、広島・長崎両市から譲り受けた被爆アオギリ・クスノキⅡ世の苗木を手賀沼公園に植樹しました。

平成 27（2015）年には、戦後 70 年・我孫子市平和都市宣言 30 年記念平和事業として、毎年行っている平和事業を拡大して実施しました。8 月には、広島平和記念公園の「平和の灯」から火を譲り受け、手賀沼公園の平和の記念碑そばに設置した「平和の灯」にその火を灯し、核兵器がこの世界からなくなるまで常時灯し続けることとしました。また、12 月には、広島の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが病床で折った折り鶴「禎子鶴」が、首都圏では初めて、国内では 5 番目に、遺族から市に寄贈されました。禎子鶴は、生涯学習センター「アビスタ」に常設展示しています。

さらに、この年、これまでに広島や長崎に派遣された経験をもつ歴代の派遣中学生（平成 27 年度時点では、高校生・大学生）が、自分たちの派遣体験を次の世代に伝えていこうという思いで、「広島・長崎派遣中学生リレー講座～未来を生きる子どもたちへ～」を企画しました。そして、自らが講師となって小学校全 13 校を訪問し、小学 6 年生向けに、平和の大切さを伝える授業を行い、令和 2 年（2020）年度末までに約 4,900 人の児童が受講してきました。

令和 2 年度の派遣中学生も、小学 6 年生のときに「リレー講座」を受けました。そして派遣から帰ってきたあとは、自らが講師の立場でリレー講座に参加し、派遣で学んだことや平和への思いを後輩たちに伝えました。

今後も我孫子市は、平和都市宣言のもと、市民の皆さんとともに平和事業に取り組んでいきます。

平和都市宣言

平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。

わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。

我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。

昭和 60 年 12 月 3 日

我孫子市

平和の記念碑

記念碑は、広島平和記念公園の原爆慰霊碑をモデルにしたハニワ型のミカゲ石（高さ 1.9m、幅 2.2m、奥行 0.6m）で、その下に被爆した広島市の旧市庁舎の側壁と敷石各 1 つずつを黒ミカゲ石の台座の上に配しています。

平和の記念碑

碑文

街は静かな朝をむかえていた。

昭和二十年八月六日 午前八時十五分

人類最初の原子爆弾は広島市に投下された。

鋭い閃光を放ち爆発した原子爆弾は巨大な

火の玉と化し熱線と爆風をこの街にたたきつけた。

大人も子どもも街と共に消え失せた。

この石は爆心地に近い広島市旧市庁舎の

側壁と敷石である。

もの言わぬ被爆の証人として

人々の心に訴えている――

再び戦争というあやまちを繰り返してはならない……と

■被爆地への中学生派遣事業

派遣の目的

- ・ 被爆地である広島や長崎で、平和祈念式典への参列や、原爆関連の資料館や施設の見学などを通じて、戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを知ること。
- ・ 派遣体験を今後の平和に関する学習の糧にするとともに、この体験を活かし、「広島・長崎派遣中学生リレー講座」などに参加することにより、次の世代への継承に貢献してもらうこと。

派遣内容

- ・ 広島平和記念式典、長崎平和祈念式典への参列
- ・ 青少年ピースフォーラムへの参加
- ・ 広島の平和記念公園や平和記念資料館、長崎の平和公園や原爆資料館などの被爆関連施設の見学
- ・ 広島や長崎を訪れている方へのインタビュー など

派遣人数

平成 17（2005）年度から平成 24（2012）年度までは 6 名（市立中学校 6 校から各 1 名ずつ）、平成 25（2013）年度からは 12 名（各中学校 2 名ずつ）を派遣しています。

なお、平成 27（2015）年度は、戦後 70 年・我孫子市平和都市宣言 30 年の節目の年にあたるため、24 名（各中学校 4 名ずつ）を派遣しました。

団員の活動

- ・ 事前説明会、事前学習会、市長・教育長との懇談会への参加
- ・ 広島・長崎の平和祈念式典への参列
- ・ 派遣感想文の作成
- ・ 我孫子市平和祈念式典への参列、派遣報告
- ・ 「広島・長崎派遣中学生リレー講座」への参加、学校等での派遣体験の伝承
- ・ 「平和の集い」における派遣報告

令和 2（2020）年度の派遣事業

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、市内の中学校全校の中学生を派遣することはできませんでしたが、5 校から 9 名を広島に派遣しました。また、市の代表として市長・教育長が、引率者として我孫子市平和事業推進市民会議委員 1 名、市職員 3 名が同行しました。

● 中学生派遣団

氏名	ふりがな	性別	学校名	学年
山元 誠人	やまもと まさと	男	我孫子中学校	2
高瀬 由華	たかせ ゆか	女		2
染谷 美翔	そめや みさね	女	湖北中学校	2
藤川 幹太	ふじかわ かんた	男	布佐中学校	2
寶 春香	たから はるか	女		2
中村 恭平	なかむら きょうへい	男	湖北台中学校	2
大津 佳奈	おおつ かな	女		2
寺島 一樹	てらじま いつき	男	白山中学校	2
信田 明音	しだ あかね	女		2

● 引率者

氏名	ふりがな	性別	所属
橋本 小都美	はしもと ことみ	女	平和事業推進市民会議
村越 加王里	むらこし かおり	女	市教育委員会 指導課
塚田 悠平	つかだ ゆうへい	男	市 企画課
岡村 優香	おかむら ゆか	女	〃

広島派遣3日間の行程

■1日目〔8月10日(月・祝)〕

7:20

出発式 けやきプラザ前集合



7:30発
～12:50着

我孫子駅～(上野東京ライン)～東京駅～

(JR新幹線のぞみ83号)～広島駅



13:00
～14:30

昼食後、広島平和記念公園へ移動(路面電車)



14:30
～15:30

ボランティアガイドの説明を受けながら、広島平和記念公園の見学



16:00
～18:00

被爆体験講話の聴講、
国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の見学



18:30
～21:00

ホテルへ移動し（路面電車）、チェックイン
徒歩で移動して夕食（広島駅 ekie OKOSTA）



21:30
～22:00

ホテルに戻り、1日の反省と振り返り



感染対策をしっかりとりながら、我孫子を出発した広島派遣団。

新幹線ではお互いに自己紹介して、仲間と少しずつ打ち解けていきました。
無事、広島に到着すると、1日目は平和記念公園内を中心に活動しました。
ボランティアガイドの皆さんや被爆者の方から、貴重なお話を聞くことができました。
広島名物のおいしいご飯を食べて、1日の最後は反省会。
明日の活動をより良いものにするため、みんなで意見を交わしました。

広島はとっても暑かったなあ。
みんなお疲れさまああ。



我孫子市マスコットキャラクター 手賀沼のうなきちさん

■2日目〔8月11日(火)〕

7:00

朝食後、平和記念公園へ移動（路面電車）

～9:30

原爆の子の像の下で、我孫子市民の皆さんや中学校から集まった千羽鶴を奉納



9:30

3グループに分かれ、平和記念資料館を見学

～11:00



11:10
~11:15

被爆2世の写真家、宮角孝雄さんに写真を撮っていただく（表紙写真）



11:30
~12:30

本川小学校平和資料館の見学



12:45
~13:45

昼食（むさし 土橋店）



14:00
~15:15

路面電車とフェリーを乗り継ぎ、宮島へ。



15:30
～17:30

厳島神社など、島内を見学



17:30
～21:00

フェリーとJRを乗り継ぎ、広島駅へ戻って夕食

21:30
～23:00

ホテルに戻り、最終日に向けた反省会



2日目は千羽鶴の奉納から活動が始まりました。

平和記念資料館では、原子爆弾の恐ろしさを目の当たりにし、
時間が足りなくなるくらい、真剣に展示に見入っていました。
世界遺産の厳島神社も見学し、日本と広島に歴史に触れることができました。
いよいよ明日は最終日。

夜の反省会では、自分たちが広島に派遣された意味を改めて考え、
最終日にどんな姿勢で臨むのか、話し合いは長時間に及びました。

最後までみんなで団結して
たくさん学んで帰るうなあ！



■3日目〔8月12日(水)〕

7:00
~9:00

朝食後、荷物をまとめてホテルをチェックアウトし、平和記念公園へ



9:00
~10:50

平和記念資料館の見学



10:45
~11:15



平和記念公園内の慰霊碑を見学



11:15
~11:35

平和記念公園レストハウスの見学



12:10 ～13:20	昼食（フイレンツェ・ホテルセンチュリー21 広島）
13:40 ～18:45	広島駅～（JR 新幹線のぞみ 30 号）～品川駅～ （JR 上野東京ライン）～我孫子駅
	
18:50	我孫子に帰着。出迎えてくださったみなさんに、派遣報告とお礼。 (けやきプラザ前)
	

最終日は、原爆やその被害についてより詳しく学ぶため、再び平和記念資料館を見学しました。派遣団として我孫子に帰った後に何を伝えるのかを意識して、メモをとりながら真剣に見学していました。帰りの新幹線では3日間の学習の振り返りをしながら、無事に全員揃って我孫子に帰ってくることができました。すっかり仲良くなった9人は、3日後の我孫子市平和祈念式典での再会を約束して別れ、3日間の広島派遣は終了しました。

みんな、3日間おつかれさまうなあ！

広島で学んだ原爆の恐ろしさや平和の大切さを、これからも周りのひとや後輩たちに伝えていってほしいなあ。

